

有限会社 尾野興業運輸

2019 度環境活動レポート

(2019 年 6 月～2020 年 5 月)



エコアクション21

認証・登録番号 0006749



発行日 2020 年 9 月 10 日

エコアクション21環境活動レポート

(活動対象期間 2019年6月～2020年5月)

目 次

1 環 境 方 針	3
2 会社概要・対象範囲	4・5
3 環境負荷実績・目標	6・7
4 目標に対する実績・主要な環境活動計画の内容及び取組結果の評価	8・9
5 関連法規の遵守状況・代表者による評価・見直し	10

環境方針

〈環境理念〉

有限会社尾野興業運輸は、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、かけがえのない地球環境の保全は事業活動の重要な要素として位置づけるとともに、産業廃棄物の収集運搬事業における環境負荷の低減を図り、人・地球・地域に優しい企業となることを目指します。

〈環境保全への行動指針〉

この環境方針を全従業員へ周知します。

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

①受託処理量(収集運搬量)の安定的確保

- ・収集・運搬業を的確に実施し、
収集運搬量増を目指す

②二酸化炭素排出量の削減(低炭素社会への対応)

- ・電力(事務所)
- ・液化石油ガス(事務所)
- ・自動車燃料(営業車、トラック)

③廃棄物の削減及び再資源化の推進(循環型社会への対応)

- ・一般廃棄物(可燃ごみ)

④グリーン購入の推進

- ・消耗品等のグリーン購入の徹底化

⑤排水量の削減(水資源の保全)

- ・地下水
- ・車両洗浄水

⑥収集運搬における環境配慮

- ・収集運搬車の燃費向上

⑦地域の環境美化

- ・地域の環境美化

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

4. 本方針を当社の全従業員に周知徹底いたします。

制定日:2010年5月1日

改定日:2018年6月1日

有限会社 尾野興業運輸
代表取締役 尾野 守彦

1.会社概要

(1) 事業者名及び代表者名

有限会社 尾野興業運輸

代表取締役 尾野 守彦

(2) 所在地

本社 :〒679-4116 兵庫県たつの市神岡町沢田949番地の1

TEL:0791-62-9152

FAX:0791-62-9153

(3) 設立 :平成3年6月12日

(4) 資本金 2,000万円

(5) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 唐沢 麻衣

担当者 唐沢 麻衣

TEL: 0791-62-9152

FAX: 0791-62-9153

(6) 事業内容

産業廃棄物収集運搬業

一般区域貨物自動車運送業

(7) 事業の規模(2019年度実績)

事業規模		2019年度実績(2019. 6~2020. 5)
収集運搬量(t)	汚泥	47,887.34
	食品残さ	12,368
	合計	60,255
売上高		210百万円
従業員数		13名 (役員4名別途)

(8) 事業年度

6月~翌年5月

(9) 産業廃棄物収集運搬車両及び重機

車種	最大積載量	車番	
車 輜	いすゞ10tダンプ	11,400kg	姫路130う17
	いすゞ10tダンプ	11,000kg	姫路130を18
	いすゞ10tダンプ	12,000kg	姫路130え19
	いすゞ10tダンプ	10,100kg	姫路131え20
	いすゞ10tダンプ	10,800kg	姫路131あ21
	いすゞ10tダンプ	10,700kg	姫路131く22
	いすゞ10tダンプ	10,800kg	姫路131あ23
	いすゞ10tダンプ	11,000kg	姫路131い24
	いすゞ10tダンプ	10,800kg	姫路130を25
	いすゞ10tダンプ	11,400kg	姫路136え11
	いすゞ10tダンプ	9,400kg	姫路136う10
	その他 営業用	4台	
	車両合計		15台
フォークリフト		1台	
重機合計		1台	

(10) 認証・登録の対象事業所・対象活動

登録組織名 有限会社 尾野興業運輸

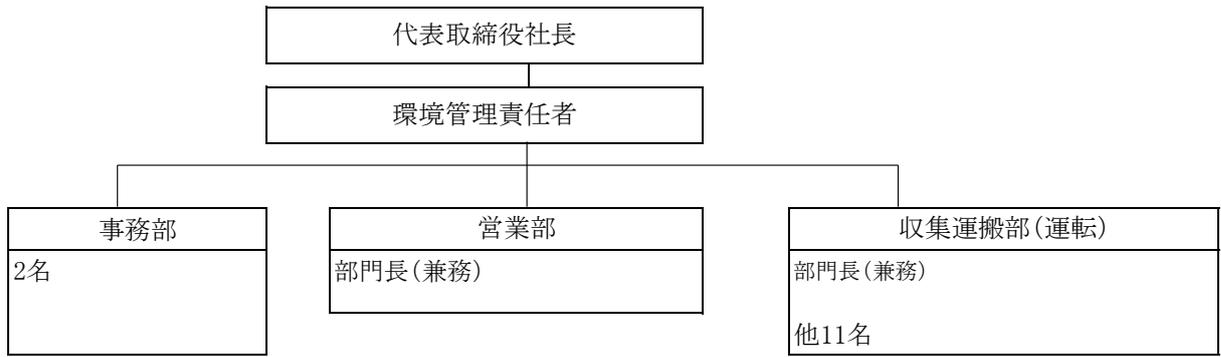
活動 産業廃棄物収集運搬業務

一般区域貨物自動車運送業

対象事業所

本社

(11) 組織図



(12) 産業廃棄物収集運搬業許可一覧

行政名	許可番号	汚泥	廃 プ ら 類	木 く ず	動 植 残 物 性	金 属 く ず	コ ン タ ク ト リ ・ ガ ラ ス リ ・ ナ	燃 え 殻	許可取得年月日 及び有効年月日
広島県	第3400001756号	○							平成28年4月13日 令和3年4月12日
大阪府	第2700001756号	○	○	○	○	○	○	○	平成30年2月17日 令和5年2月16日
兵庫県	第02806001756号	○	○	○	○	○	○	○	平成28年12月25日 令和3年12月24日
岡山県	第3301001756号	○		○	○			○	平成28年11月6日 令和3年11月5日
愛知県	第02300001756号	○							平成27年1月28日 令和2年1月27日
京都府	第02600001756号	○	○	○	○				平成27年5月20日 令和2年5月19日
岐阜県	第02100001756号	○							平成29年11月10日 令和4年11月9日
香川県	第03709001756号	○							平成30年9月7日 令和5年9月6日
和歌山県	第03000001756号	○							令和2年1月31日 令和7年1月30日

※事業の範囲

積替え・保管を含まない(積替保管施設 無)

(13) 廃棄物処理料金

廃棄物の種類、数量、収集方法などにより見積りいたします。

弊社までお問い合わせください。

TEL:0791-62-9152

(14) 主要取引実績

(株)ダイセル姫路工場
 サントリープロダクツ(株)高砂工場・京都工場
 兵庫パルプ工業(株)
 松谷化学工業(株)
 日本製紙パピリア(株)
 丸大食品(株)高槻工場
 パナソニック液晶ディスプレイ(株)
 コカ・コーラボトラーズジャパン(株)
 (公財)兵庫県まちづくり技術センター
 兵庫県企業庁 東播磨利水事務所
 姫路市水道局
 愛知水と緑の公社 浄化センター
 高砂市上下水道局

(15) 処理業者一覧

会社名	所在地
(株)白滝有機産業	岡山県
児島興業(有)	岡山県
(株)日本資源開発社	岡山県
中国有機(株)	岡山県
(有)エコファーム	岡山県
クリーン発酵(株)	岡山県
日本有機(株)	岡山県
アミタ(株)	兵庫県

2. 主な環境活動の実績

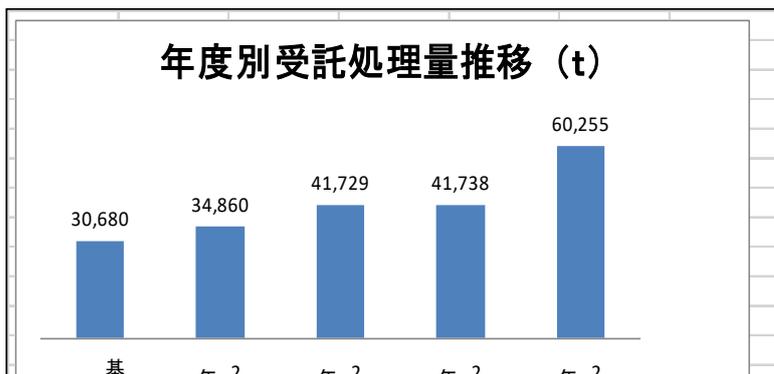
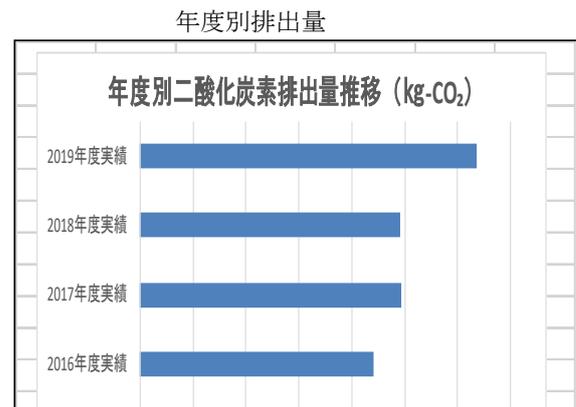
項目	単位	基準年度実績	2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績
1 収集運搬量	t	30,680	41,729	41,738	25,361
2 二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	760,515	987,965	984,254	488,734
①電力	kWh	7,449	6,544	6,562	6,594
	kg-CO ₂	3,792	3,331	3,340	3,356
②液化石油ガス	kg	33.30	28.50	27.90	30.40
	kg-CO ₂	99.96	85.55	84.00	91.00
③軽油	L	365,904	365,904	365,588	475,139
	kg-CO ₂	960,256	960,256	959,427	1,246,926
④ガソリン	L	9,264	8,804	7,690	8,207
	kg-CO ₂	21,507	20,439	17,854	19,054
⑤灯油	L	1,600	1,546	1,353	1,448
	kg-CO ₂	3,987	3,853	3,372	3,608
3 廃棄物排出量	kg	18	13	16	14
4 総排水量	m ³	1,510	1,520	1,510	1,472

3. 環境目標

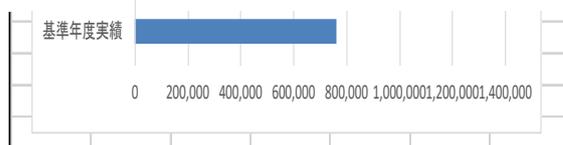
環境目標項目 (負荷の自己 チェックを踏ま えて策定)	責任部門 責任者	(基準年度実績) 基準値	目標値	事業年度		
			達成手段	2019 年度	2020年度	2021年度
I. 産業廃棄物収集運搬量の安定的確保	尾野	2015年度実績 30,680 t		31,600 (3%)	31,600 (3%)	31,600 (3%)
II. 二酸化炭素排出量の削減 (単位：kg-CO ₂) 下記の項目のCO ₂ への換算後の合計	唐沢	2015年度実績 760,518 kg-CO ₂	目標値	743,787 △2.2%	743,026 △2.3%	742,266 △2.4%
			達成手段	下記の各項による	下記の各項による	下記の各項による
1) 電力の使用量削減 (単位：kWh)	唐沢	2015年度実績 7,448 kWh 3,352 kg-CO ₂ (CO ₂ への換算係数： 0.450 kg-CO ₂ /kWh)	目標値	7,284 △2.2%	7,277 △2.3%	7,269 △2.4%
			達成手段	①照明器具の更新	①照明器具の更新	①照明器具の更新
2) 灯油使用料の削減 (暖房用) (単位：L)	唐沢	2015年度実績 1,600 L 3,987 kg-CO ₂ (CO ₂ への換算係数： 2.49193 kg-CO ₂ /L)	目標値	1,565 △2.2%	1,563 △2.3%	1,562 △2.4%
			達成手段	①休憩時間や使用しないときは消す	①休憩時間や使用しないときは消す	①休憩時間や使用しないときは消す
3.4) 自動車燃料の使用量削減 (単位：L)	尾野	2015年度実績 ガソリン 9,264 L 21,508 kg-CO ₂ (CO ₂ への換算係数： 2.32166 kg-CO ₂ /L)	目標値	9,060 △2.2%	9,051 △2.3%	9,042 △2.4%
			達成手段	①低燃費車導入 アイドリングストップ 急加速・急停車の防止	①低燃費車導入 アイドリングストップ 急加速・急停車の防止	①低燃費車導入 アイドリングストップ 急加速・急停車の防止
収集運搬班		2017年度実績 軽油 365,904 L	目標値	357,854 △2.2%	357,488 △2.3%	357,122 △2.4%

	尾野	960,257 kg-CO ₂ (CO ₂ への換算係数： 2.62434 kg-CO ₂ /L)	達成手段	①低燃費車導入 ②燃費の向上	①低燃費車導入 ②燃費の向上	①低燃費車導入 ②燃費の向上
5) 液化石油ガス使用量削減 (単位：kg)	唐沢	2015年度実績 33 kg (CO ₂ への換算係数： 2.49193 kg-CO ₂ /kg)	目標値	32.6 △1.2%	32.3 △1.3%	32.0 △1.4%
			達成手段	①できる限りポット等の保温機能のあるものを使い給湯器・ガスレンジを使用しない	①できる限りポット等の保温機能のあるものを使い給湯器・ガスレンジを使用しない	①できる限りポット等の保温機能のあるものを使い給湯器・ガスレンジを使用しない
III. 廃棄物排出量削減 ① 一般廃棄 (単位：kg)	唐沢	2015年度実績 18 kg	目標値	17.6 △1.2%	17.5 △1.3%	17.3 △1.4%
			達成手段	①ごみになるような商品を購入しないようにする	①ごみになるような商品を購入しないようにする	①ごみになるような商品を購入しないようにする
IV. 水使用量削減 (単位：m ³)	唐沢	2015年度実績 1,510 m ³	目標値	1,480 △1.2%	1,465 △1.3%	1,450 △1.4%
			達成手段	節水運動 洗車管理（時間・回数・高圧洗浄）	節水運動 洗車管理（時間・回数・高圧洗浄）	節水運動 洗車管理（時間・回数・高圧洗浄）
V. グリーン購入省エネ型の電気製品選択	唐沢	2013年度実績 7品目	目標値	7.14 2%UP	7.21 3%UP	7.28 4%UP
			達成手段	徹底化し、根付かせる	徹底化し、根付かせる	徹底化し、根付かせる
VI. 収集運搬における環境配慮 (単位：収集運搬量-t/L)	唐沢	2018年度実績 0.11 t/L	目標値	0.11 2%UP	0.11 3%UP	0.11 4%UP
			達成手段	・燃費実態調査	・燃費実態調査 (効率的ルート収集、エコドライブ、計画収集、適正空気圧、点検整備等)	・燃費向上運動 (効率的ルート収集、エコドライブ、計画収集、適正空気圧、点検整備等)
VII. 会社周辺の清掃	唐沢	周辺美化活動 2009年度実績 3回/年	目標	年3回の会社周辺の清掃	年3回の会社周辺の清掃	年3回の会社周辺の清掃
			達成手段	会社周辺の年3回の清掃	会社周辺の年3回の清掃	会社周辺の年3回の清掃

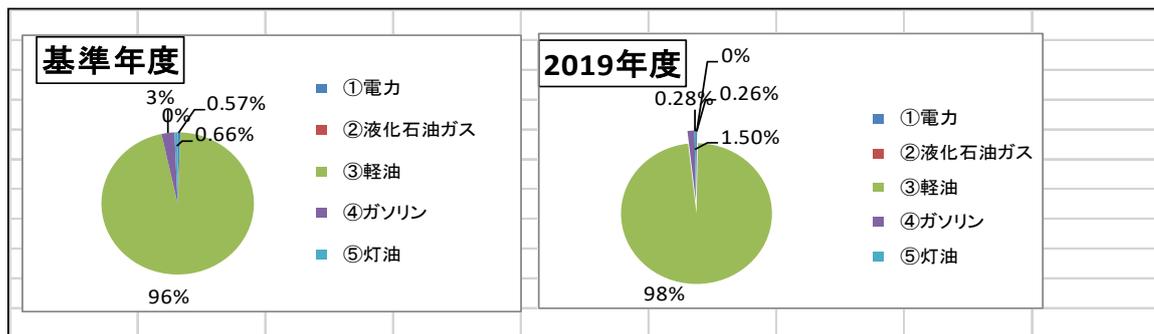
(1) 受託処理量の増加への取組結果

(2) CO₂排出量の削減に関する取組結果

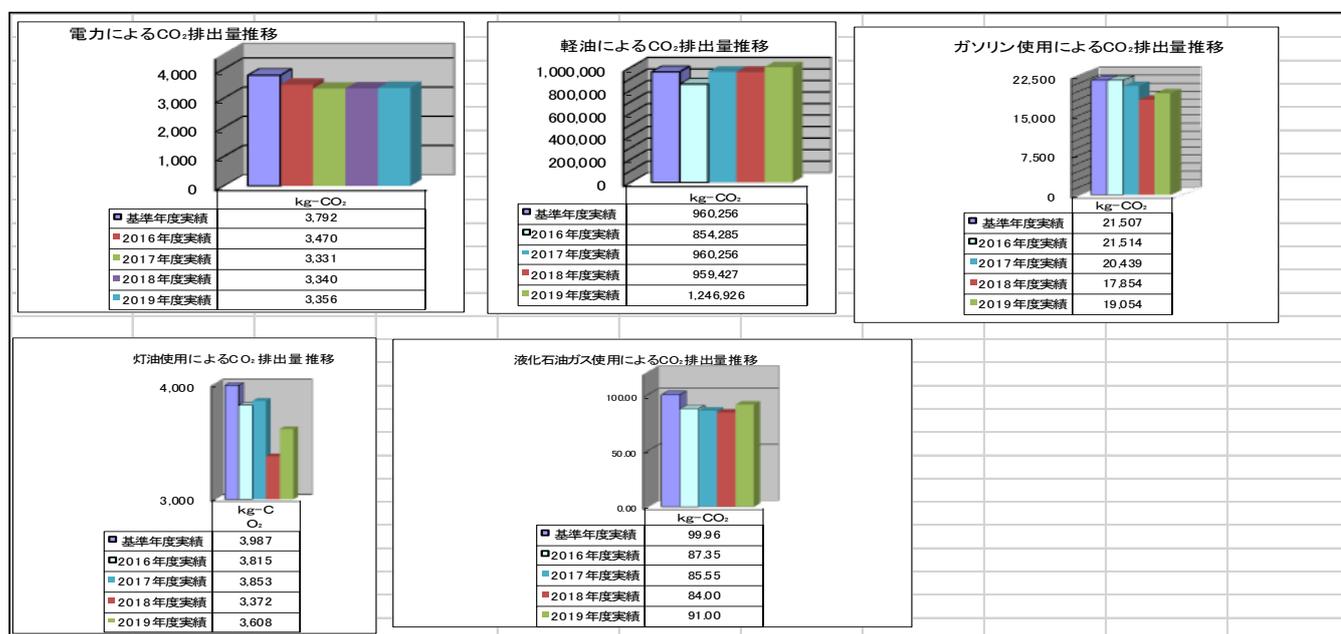
準 年 度 実 績	0 1 6	0 1 7	0 1 8	0 1 9
-----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------



(3) CO₂排出量構成比



(4) 各項目の年間CO₂排出量推移



4. 目標に対する実績・主要な環境活動計画の内容及び取組結果の評価

環境活動計画	達成状況		単位及び 対目標 達成率	評価
	基準値	実績値		
受託処理量の安定的確保	基準値 30,680	実績値 25,361	t 190%	達成 ◎ 社長の営業努力により 受託処理量が増加した。
二酸化炭素排出量の削減	基準値 760,518	実績値 1,273,224	kg-CO ₂ 58%	未達成 × 全体的には未達成だが、受託量増加に よるもののため 中身はまずまず。
電力使用量の削減	基準値	7,448	kWh	達成 ◎

<ul style="list-style-type: none"> 不要照明の消灯 エアコン温度の適正化 	目標値	7,284	110%	前々年度を教訓に エアコンの温度の適正 化に努めた結果だ	
	実績値	6,594			
	<ul style="list-style-type: none"> 軽油使用量の削減 アイドリングストップ 空気圧・オイル等の点検 運転者研修 	基準値	365,904	L	未達成 △ 未達成なのは受託処理量が 大幅に増加したため。 燃費は前年度までの2年間の 平均燃費と比較して悪くなっているが 今回近場が多かったため
		目標値	357,854	98%	
		実績値	475,139		
		平均燃費	3.04	km/ℓ	
	<ul style="list-style-type: none"> ガソリン使用量の削減 アイドリングストップ 運転者研修 	基準値	9,264	L	達成 ◎ アイドリングストップ・低燃費車導入に努め この数値まで持ててくることが出来た 今季は営業活動を十分に行ったにも関わらず この結果になった。
目標値		9,060	110%		
実績値		8,207			
<ul style="list-style-type: none"> 灯油使用量の削減 石油ストーブ等の使用の制限 	基準値	1,600	L	達成 ◎ 昨年度ストーブを買い替えた 目標達成できた。	
	目標値	1,565	108%		
<ul style="list-style-type: none"> 液化石油ガス使用量の削減 ポット等の保温機能のあるものを使用 	基準値	33.3		kg	達成 ◎ 猛暑ではあったがエアコンの適正温度に 努め、この結果につながった。
	目標値	32.6	107%		
実績値	30.4				
<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物の削減 ・ミスコピーの防止 ・裏紙の使用 	基準値	18	kg	達成 ◎ 紙への印字を減らしPC 中でチェックした。	
	目標値	17.60	125%		
	実績値	14			
<ul style="list-style-type: none"> 節水 ・目標を設定する ・節水ラベルの表示 	基準値	1,510	m ³	達成 ◎ 受託処理量が増加し 洗車回数が増加したにも拘らず、この数値は 素晴らしい。	
	目標値	1,480.0	100%		
	実績値	1,472			
<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮 ・周辺の環境美化 ・従業員の環境意識の向上教育 	基準値	年3回程度	100%	周辺の環境美化を実地 地域住民との良好な関 係を構築出来ている	
	目標値	年3回			
	実績値	年3回			
<ul style="list-style-type: none"> 収集運搬における環境配慮 集運搬車の燃費向上) 	基準値	0.11	t/L	未達成 × 新車2台の実績不明分が入っているのも 要因と考えられる	
	目標値	0.11	84%		
	実績値	0.13			
<ul style="list-style-type: none"> グリーン購入 ・実態把握 ・目標値を設定する 	基準値	7	100%	実態の把握は出来ましたが よく使う物は 大量にまとめ買っていたた め、中々購入にいたらなかったが、7品目 については、購入することが出来た。	
	目標値	7.14			
	実績値	7品目			
	案 計	7品目			

5. 環境関連法規の遵守状況

適用される法規制	遵守すべき主な事項	遵守評価
廃棄物処理法	産業廃棄物の適正な収集運搬	遵守
自動車NOx・PM法	営業用乗用車、収集運搬用トラックの排ガス規制の遵守	遵守
消防法	防火・火災訓練 消火設備の点検	遵守
自動車リサイクル法	自動車を廃棄する場合 業者への引き渡し	対象なし
家電リサイクル法	家電を廃棄する場合 業者への引き渡し	対象なし
フロン排出抑制法	エアコンの簡易点検と記録	遵守

環境関連法規の遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘及び環境上の苦情・要請等は、過去3年間ありません。

6. 代表者による全体評価と見直し

二酸化炭素の排出量の削減について受託処理量が増加したこともあり目標を達成出来なかった。営業努力を積んだ結果が受託量増加につながっていると考える。ガソリンは、低燃費車導入により目標値に近づける事が出来た。前期に引き続き、軽油は車両ごとに使用量・走行距離をチェックしたため、受託量が増え、行先も増えたが、この数値におさめることが出来た。

受託量が増えたにも関わらず燃費が変わりない数値というのは、社員一丸になって取り組んでいるためであり、社員に感謝する。このシステムを今後も続けていく。ホームページでこの結果を生かされており、取引先にも閲覧してもらえ結果となった。

今期は、基準値や目標値を変更しなかったため、受託量大幅増加に伴い来期は基準値を見直すこととする。当社は電子マニフェストを導入しており、作業の効率化にも成功している。新たに取引があるお客様にも電子マニフェストを奨めて行きたい。

見直し日：2020年9月10日

代表取締役 尾野 守彦